

## コスモスクエアから南港野鳥園へ

天気がいいので、咲洲のコスモスクエアに行った。夢洲のコンテナターミナルを近くで眺めることができた。巨大なクレーンにより、船荷が次々と運び出されていく様子を確認した。先日のヒアリングで馬場徳夫さんから聞いていたが、その作業の早いことに驚いた。夢洲が大阪湾の経済活動の拠点であることも実感できた。



「上組南港コンテナセンター」や5段組みの空コンテナ、トラックなどを眺めながら、「南港野鳥園」まで歩いた。もっと遠いと思ったが、意外に近かった。ここを訪れるのは初めてだ。



案内図のように広い敷地であり、野鳥のさえずりに耳を傾けた。瀬戸「海上の森」や名古屋「東山の森」「藤前干潟」を散策したときを思い出した。大阪の自宅近くでは味わえない心地よい気分だ。展望塔に向かったが、残念ながら「コロナ」により、当分の間、休館を続けるという。



帰宅してから「大阪南港野鳥園」のサイトを見ると、次のように書かれていた。—大阪南港野鳥園のある大阪南港一帯は、古くは住吉浦と呼ばれ多くの人たちに親しまれていました。同時に豊かな自然に恵まれ、日本でも指折りの渡り鳥の楽園としても良く知られていた所です。南港一帯はシギやチドリをはじめ、ガンカモ類が渡来し休息し餌を採る、日本における渡り鳥の重要な生息地であったのです。

国際都市大阪の発展とともに埋め立て事業、新しい港湾都市づくりが進行し、大阪南港の様子は大きく移りかわりました。大阪南港野鳥園は港湾関係整備事業の一環として、おもに大阪湾岸一帯に生息する水鳥を中心とした野鳥の保護を目的として設置されたもので、現在は臨港緑地として管理されています。野鳥の観察場として、自然に親しみ学ぶ場としてご利用ください。

(2020年3月23日)